

令和3年度ネットリサーチ「ペット同行避難」に関するアンケート結果報告書

■結果のポイント

- ペット同行避難の認知状況については、「言葉も内容も知っていて、災害時にペット同行避難をしたことがある」(2.4%)、「言葉も内容も知っているが、ペット同行避難をしたことはない」(23.4%)、「言葉を聞いたことがあるが、詳しくは知らない」(25.3%)を合わせた【知っている】が51.1%となっている。
- ペット同行避難に対する考え方については、「ペット同行避難について理解し、ペットがいてもよいと思う」が28.3%で最も高い。
- 避難所の体制整備を進める上で必要なことについては、「動物が苦手な方、動物アレルギーのある方への配慮」が73.0%で最も高く、次いで「ペット管理のルールを作り、飼い主がルールを遵守するよう徹底すること」が49.4%と続く。

■調査結果の概要

1 ペットの飼育状況

◇ 現在飼っているペットについては、「犬」が14.3%、次いで「猫」が13.6%と続く。

Q1.あなたは、ペットを飼っていますか。あてはまるものをそれぞれ選んでください。

MA

	n	現在、 飼っている	過去に 飼っていた	今後飼う 予定がある	飼ったこともない し、予定もない
1.犬	100.0 1000	14.3 143	33.1 331	4.8 48	51.1 511
2.猫	100.0 1000	13.6 136	17.4 174	2.8 28	68.6 686
3.ハムスター	100.0 1000	0.7 7	19.1 191	0.8 8	79.8 798
4.ウサギ	100.0 1000	0.7 7	10.4 104	1.0 10	88.2 882
5.その他哺乳類	100.0 1000	0.6 6	2.2 22	1.0 10	96.6 966
6.鳥類	100.0 1000	1.7 17	17.7 177	1.4 14	80.0 800
7.爬虫類	100.0 1000	1.9 19	3.1 31	1.1 11	94.4 944

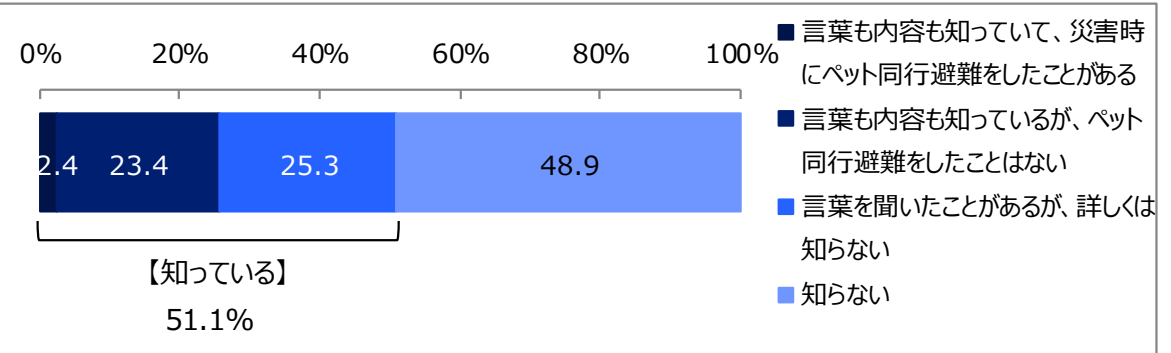
2 ペット同行避難の認知状況

◇ 「言葉も内容も知っていて、災害時にペット同行避難をしたことがある」(2.4%)、「言葉も内容も知っているが、ペット同行避難をしたことはない」(23.4%)、「言葉を聞いたことがあるが、詳しくは知らない」(25.3%)を合わせた【知っている】が51.1%となっている。

Q2.あなたは、「ペット同行避難」(※)について知っていますか。

SA

	%	n
全体	100.0	1000
言葉も内容も知っていて、災害時にペット同行避難をしたことがある	2.4	24
言葉も内容も知っているが、ペット同行避難をしたことはない	23.4	234
言葉を聞いたことがあるが、詳しくは知らない	25.3	253
知らない	48.9	489



※ペット同行避難とは、災害時にペットと一緒に避難所等の安全な場所へ逃げることです。

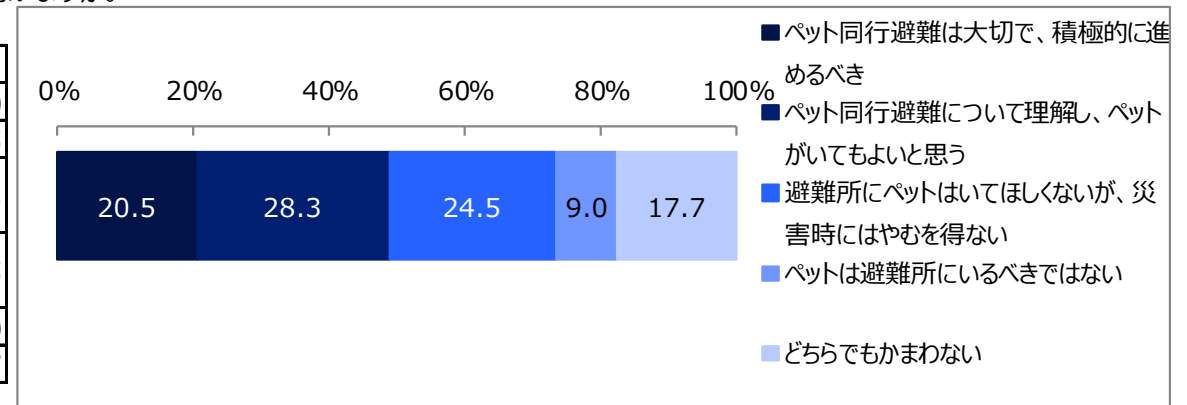
3 ペット同行避難に対する考え方

◇ 「ペット同行避難について理解し、ペットがいてもよいと思う」が28.3%で最も高い。

Q3.あなたは、災害時にペットが避難所に同行することについてどう思いますか。

SA

	%	n
全体	100.0	1000
ペット同行避難は大切で、積極的に進めるべき	20.5	205
ペット同行避難について理解し、ペットがいてもよいと思う	28.3	283
避難所にペットはいてほしくないが、災害時にはやむを得ない	24.5	245
ペットは避難所にいるべきではない	9.0	90
どちらでもかまわない	17.7	177



4 ペット同行避難ができる避難所の認知状況

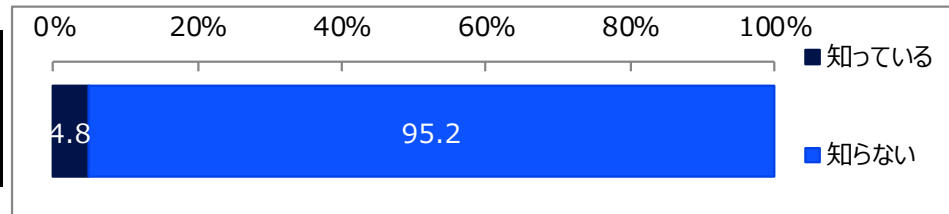
◇ 「知らない」が95.2%となっている。

(Q1で「現在、飼っている」～「今後飼う予定がある」と回答した方へ)

Q4.あなたは、お住まいの市町村において、ペット同行避難ができる避難所を把握していますか。

SA

	%	n
全体	100.0	663
知っている	4.8	32
知らない	95.2	631



5 ペットを意識した災害への備え

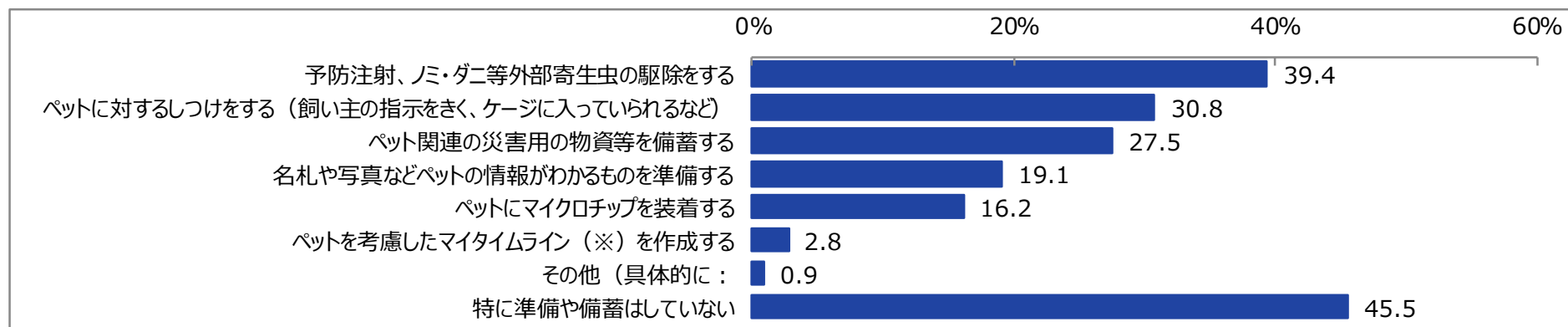
◇ 「予防注射、ノミ・ダニ等外部寄生虫の駆除をする」が39.4%、次いで「ペットに対するしつけをする（飼い主の指示をきく、ケージに入っているなど）」が30.8%と続く。

(Q1で「現在、飼っている」～「過去に飼っていた」と回答した方へ)

Q5.ペットを意識した災害への備えとして、以下のことに取り組むことが重要です。このうち、あなたが実施しているものをすべて選んでください。

MA

	%	n
全体	100.0	650
予防注射、ノミ・ダニ等外部寄生虫の駆除をする	39.4	256
ペットに対するしつけをする（飼い主の指示をきく、ケージに入っているなど）	30.8	200
ペット関連の災害用の物資等を備蓄する	27.5	179
名札や写真などペットの情報がわかるものを準備する	19.1	124
ペットにマイクロチップを装着する	16.2	105
ペットを考慮したマイタイムライン（※）を作成する	2.8	18
その他（具体的に：	0.9	6
特に準備や備蓄はしていない	45.5	296



※マイタイムラインとは、災害時の個人の防災行動を時系列的に整理した計画表です。詳しくは、こちらをご覧ください。

URL : <https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/seiei/kankyo/saigai.html>

6 ペットに関して受けたい支援

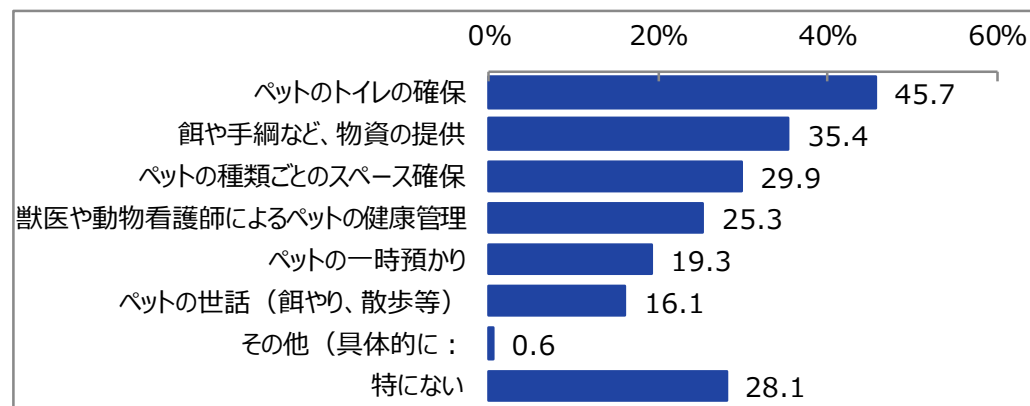
◇ 「ペットのトイレの確保」が45.7%で最も高く、次いで「餌や手綱など、物資の提供」が35.4%と続く。

（Q1で「現在、飼っている」～「今後飼う予定がある」と回答した方へ）

Q6. ペット同行避難をした際に、ペットに関してどのような支援を受けたいですか。あてはまるものを3つまで選んでください。

MA

	%	n
全体	100.0	663
ペットのトイレの確保	45.7	303
餌や手綱など、物資の提供	35.4	235
ペットの種類ごとのスペース確保	29.9	198
獣医や動物看護師によるペットの健康管理	25.3	168
ペットの一時預かり	19.3	128
ペットの世話（餌やり、散歩等）	16.1	107
その他（具体的に：特にない）	0.6	4
特にない	28.1	186



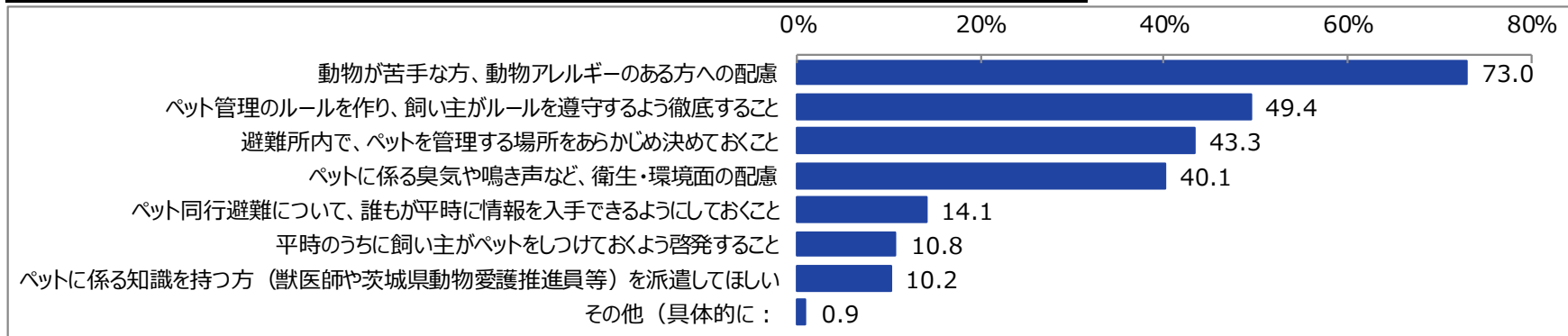
7 避難所の体制整備を進める上で必要なこと

- ◇ 「動物が苦手な方、動物アレルギーのある方への配慮」が73.0%で最も高く、次いで「ペット管理のルールを作り、飼い主がルールを遵守するよう徹底すること」が49.4%と続く。

Q7.ペット同行避難に向けた避難所の体制整備を進める上で、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものを3つまで選んでください。

MA

	%	n
全体	100.0	1000
動物が苦手な方、動物アレルギーのある方への配慮	73.0	730
ペット管理のルールを作り、飼い主がルールを遵守するよう徹底すること	49.4	494
避難所内で、ペットを管理する場所をあらかじめ決めておくこと	43.3	433
ペットに係る臭気や鳴き声など、衛生・環境面の配慮	40.1	401
ペット同行避難について、誰もが平時に情報を入手できるようにしておくこと	14.1	141
平時のうちに飼い主がペットをしつけておくよう啓発すること	10.8	108
ペットに係る知識を持つ方（獣医師や茨城県動物愛護推進員等）を派遣してほしい	10.2	102
その他（具体的に：	0.9	9



■調査の目的

災害時におけるペットの保護対策として、ペット同行避難に関する県民への周知や理解を深めることが必要である。今後、更なる周知、啓発を進めるため、ペット同行避難に関する県民の理解、意識等を調査する。

■実施概要

- ・実施期間 令和3年7月21日～7月28日
- ・サンプル数 茨城県常住人口調査（令和3年4月1日現在）に基づく性別・年代・居住地（5地域）の割合で割り付けた18歳以上の県民1,000サンプル

回答者数（人）

		県北	県央	鹿行	県南	県西	計
全体		116	246	96	353	189	1,000
性別	男性	60	125	51	181	99	516
	女性	56	121	45	172	90	484
年代別	18～29歳	18	42	17	66	33	176
	30歳代	17	43	17	62	31	170
	40歳代	24	57	21	83	42	227
	50歳代	27	53	19	72	39	210
	60歳代	30	51	22	70	44	217

県北：日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、常陸大宮市、久慈郡

県央：水戸市、笠間市、ひたちなか市、那珂市、小美玉市、東茨城郡、那珂郡

鹿行：鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市

県南：土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、稲敷郡、北相馬郡

県西：古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、結城郡、猿島郡

(注)

1. 「ネットリサーチ」の回答者は、民間調査会社のインターネットリサーチモニターであり、無作為抽出された調査対象者ではない。
2. 割合を百分率で表示する場合は、小数点第2位を四捨五入した。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体を示す数値とが一致しないことがある。
3. 図表中の表記の語句は、短縮・簡略化している場合がある。